



2019年4月9日

各位

会社名：株式会社ベガコーポレーション
代表者名：代表取締役社長 浮城 智和
(コード：3542 東証マザーズ)
問合せ先：取締役経営企画室長 藤浦 敏明
(TEL：092-281-3501)

2019年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2019年4月9日開催の取締役会において、2018年10月31日に公表しました2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）の通期業績予想を、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期業績予想の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	14,000	△152	△139	△123	△11.98
今回修正予想（B）	13,320	△300	△260	△230	△22.40
増減額（B－A）	△680	△148	△121	△107	—
増減率（%）	△4.9	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2018年3月期）	12,977	561	589	338	32.84

2. 修正の理由

2019年3月期通期の実績におきまして、旗艦店売上高は、前年同期比において順調に推移いたしました。また、新たな取り組みとして、2019年2月にAR機能を実装し、ECサイトの利便性向上にも取り組んでいるところであります。

しかし、下期以降の配送キャリア変更に伴う配送費上昇によるコスト負担に対応するため、売価見直しに加え、広告や販売促進施策について費用対効果を見ながら慎重に運営した結果、売上高は計画に対し未達となりました。

また、営業利益、経常利益、当期純利益及び1株当たり当期純利益におきましても、上記売上高の下振れ要因を考慮し、改めて2019年3月期通期業績予想を修正することといたしました。

当社の今後の取り組みとしましては、引き続き以下に掲げる項目について改善、抑制を図りつつ、必要な投資は継続的に行う予定でございます。

- 商品開発の見直し
- SCM システムの構築
- 保管費率の削減
- 配送費の抑制
- 研究開発費の効率的投資

(注) 上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上